

日時・場所	令和3年8月2日（月）9時00分～ 庁議室
出席者	栢木市長、川口副市長、西村教育長、田中議会事務局長、赤坂政策調整部長、馬野政策調整部政策監、市木病院事務部長、川端総務部長、長尾市民部長、吉田健康福祉部長、田中健康福祉部政策監、三上都市建設部長、武内環境経済部長、吉川教育部長、事務局

1. 開会

<市長挨拶>

- 7月31日で、政府の7月接種完了目標に伴い前倒し移行をお願いした65歳以上の2回目接種が終了した。最終日も順調に運営されており、協力いただいた職員に感謝する。
- オリンピックの金メダルラッシュで、嬉しいニュースが続いているが、一方で新型コロナウイルスの第5波で、県内で増加傾向にあり、市内でも増加しているので、改めて気を引き締めていただきたい。

2. 議題

【審議事項】

①広告事業の実施について

行財政改革の取組みの一つとして、歳入の確保と地域経済の活性化を図るため、広告事業に取り組む。実施手法は広告の掲載、広告を掲載した媒体の提供の2つとし、広告事業を実施するための基本的な進め方や基準については、「野洲市広告事業実施要綱」で定めることとする。

→要項は各課で作成するということであるが、共通する内容については準則的なものをつくられるのか。

→事業全体は今回定める要綱を前提としており、要項については雛形を作成しているので、必要事項を記入していただく段取りとなっている。

→前回事業を停止した理由として、掲載中の事業者を途中で断る基準、理由がないことから事業自体を停止したと思うが、今回はどうなるのか。

→今回は必要に応じて柔軟な対応ができるような規定を整備することとしており、申請時の基準は要綱で定め、その他詳細な基準については要項で手当する。

→市議会のホームページは市のホームページと共有する形で存在するため、一度協議する必要がある。

→想定できていなかったので、後で協議したい。

→広告事業の開始時期はいつ頃か。またその収入の扱い、予算の考え方はどうなるのか。

→9月の広報およびHPにて事業内容の周知を行う。したがって広告掲載の開始は最短でも10月以降を想定している。収入については、各課ではなく市全体として考えている。

→公平性の担保はどうするのか。

→公募を大原則としているので、公平性は保たれると考えている。

→市のホームページや広報に広告が掲載されていることで、市が関連している事業者であると市民が誤解しないような表記をするべきではないか。

→県内他市の状況を確認して審査基準などで整える。

→更新の期間はどうか。それに伴う封筒などの在庫はどうなるのか。

→更新期間は原則1年であるが、今年度は年度途中であるので、検討していかなければいけな

い。実施までに内容を詰める。在庫については事務局と再度協議する。

→いろいろな意見はあると思うが、市役所も収入を色んなかたちで確保することを考えていかねばならない。今日出た意見を踏まえながら、前に進めてほしい。(副市長)

【報告事項】

②令和3年第3回野洲市議会定例会提出議案(案)について

令和3年第3回野洲市議会定例会に決算認定10件、補正予算7件、条例改廃4件、その他6件、人事案件1件を提出する。人事案件について、場合によってはもう1件追加する可能性がある。

③指定管理者の指定につき議決を求めることについて(こどもの家)

こどもの家については、社会福祉法人野洲市社会福祉協議会を指定管理者として指定しているところであるが、令和4年3月31日で期間が満了となることから、すべてのこどもの家について令和4年4月1日から5年間の指定管理者を指定するに当たり、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

④第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会野洲市準備委員会設立発起人会の開催について

令和7年に滋賀県で開催される第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会に向け、野洲市で実施される競技会の円滑な運営ならびに本市を訪れる選手・観客等を歓迎する準備を進めるため、行政及び関係各種団体等から構成される野洲市準備委員会の設立を目指し、その母体となる設立発起人会を開催する。

→新型コロナウイルスの影響で開催が延期になるということはないか。

→今のところそういった話はない。2025年開催をめざしている。

⑤全員協議会への提出事項について

令和3年8月18日(水)開催の全員協議会に報告事項13件、連絡事項4件を提出する。

3. その他伝達事項

(市民部)

○先月27日(火)午前9時35分ごろ、JR野洲駅で線路の枕木から煙が出ていることが確認され、駅員によって消火された。また、8月1日(日)午前11時頃に野洲駅北口公衆便所周辺のJR敷地フェンス付近で火災が発生し、駅員等が周辺に配備されていた消火器を使用し鎮火した。共に特に被害は無く、原因については現在調査中である。

(健康福祉部)

○これまでは集団接種会場での接種人数を報告していたが、個別接種や職域接種が広まったため、VRS(国のワクチン接種記録システム)に登録された人数を報告する。7月30日時点で、1回目接種終了が18,101人(41.2%)、2回目接種終了が11,243人(25.6%)である。

(政策調整部)

○病院整備基本構想と基本計画のプロポーザル公募を実施した結果、応募があった。予定通り8月12日(木)にその審査を実施する。

(副市長)

○4月5日の今年度最初の部長会議で私から4点話したが、そのうちの1つ「非認知能力」について改めてお話ししたい。テストで計られる偏差値やIQなどの認知能力ではなく、目標や意欲、

粘り強く仲間と協力して取り組む姿勢などのことを非認知能力と言い、具体的には自己肯定感、集中力、意欲、忍耐力、回復力、創造性などの能力で、生きていくために必要であると言われている。私はこれに加えて、問題発見能力とコミュニケーション能力が大事であると話した。問題解決能力も大事であるが、どこに問題があるか発見する能力も大事である。また、コミュニケーション能力、市民に対して議会に対して関係団体に対して、そして職場の職員間でのコミュニケーションなどいろんなコミュニケーションがある。ぜひこのコミュニケーション能力を意識して磨いていただきたいという思いで話した。なぜまたこの話をしているのかというと、職員にいきいきと仕事をしてほしい、さらに活力のある野洲市になってほしいという思いからである。この4か月間で感じたのは、外に向けた問題発見能力はみなさん持っているが、自分の所属、部下など自分の周辺のことに関してはなかなか難しい。しかし、部下を育てるのも管理職の仕事であるので、外向きだけでなく内向きにも目を向けてほしい。また、コミュニケーション能力について、各部門、各部門でちゃんとコミュニケーションを図れているのかな、と思うことが何回かあった。コロナ禍でコミュニケーションを控えているということもあるかもしれないが、人と人との接触の機会が減っている。手段として部内であっても SNS やメールで済ませてしまっているのではないかと想像する。部下を含めて部同士のコミュニケーションを意識してほしい。

最後に、ここにいる部長、政策監は市長の代理だと思っている。市長、副市長は各部から話を聞くが、一つの課題に割ける時間は少ない。一度聞いただけでは理解できていないこともあるので、1回資料で説明するだけでなく、何度も話を聞かせてほしい。また、それぞれの立場で自分の部だけのことを考えるだけでなく、一つか二つ上の立場に立って物事を考えてほしい。一人ひとりが市長の視点を持って、市長としてどう考えるべきなのかという視点を持ってほしい。

4. 次回部長会議の予定

8月10日（火）9時00分～ 庁議室

5. 閉会